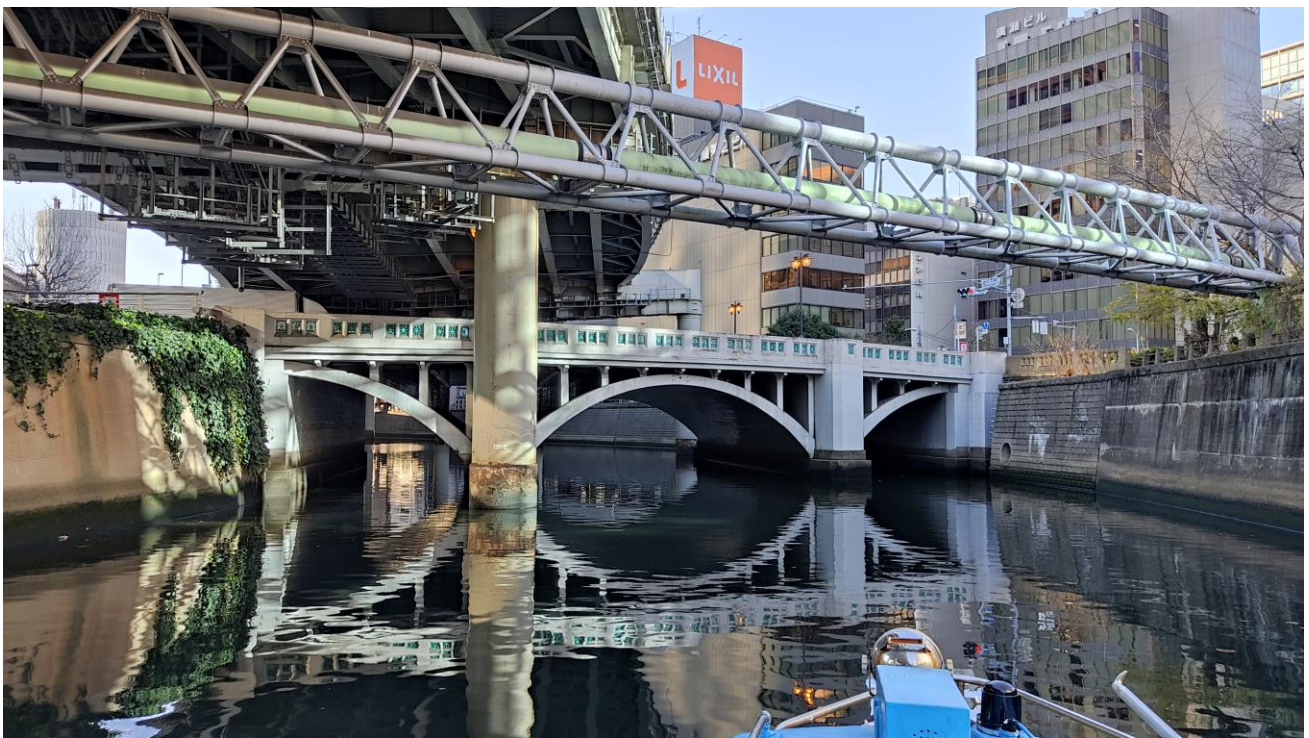
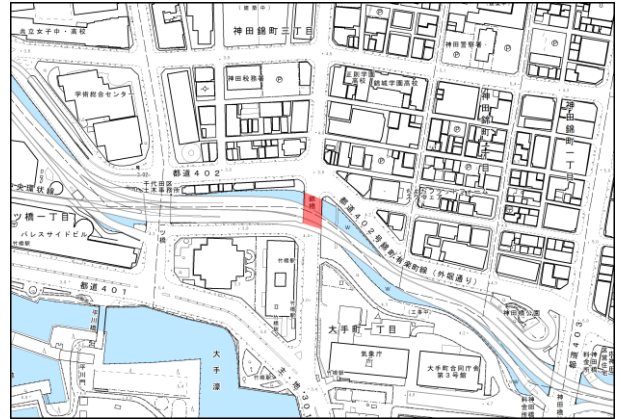


53

千代田区景観まちづくり重要物件

錦橋

指定日	2007（平成 19）年 3 月 28 日
所在地	大手町一丁目 3,4 番先～神田錦町三丁目 19 番地先（日本橋川）
設計者	-
竣工	1926（大正 15）年
文化財等指定状況	-



▲ 錦橋全景

歴史・文化的特徴

震災復興橋梁として1926（大正15）年に架けられました。橋名は近隣の町名に由来しています。

意匠・構造の特徴

中央に一連のアーチ、左右に対称の半連アーチを持つ個性的な構造のコンクリート橋です。

シンプルではありますが重厚感ある親柱、石造風の高欄、橋灯などに表現派風の意匠を見て取ることができます。



▲錦橋の親柱



▲石造り風の高欄

周辺景観との関係

親柱や高欄が目に入ります。周辺は首都高速道路の高架が交錯し眺望はあまり良くありません。橋上には小さなバルコニーがあります。橋からは古い護岸を見ることができます。

橋詰には小さな植栽帯が備えられています。

周辺道路等からは橋の印象的な全景を見ることができますが、高架が交錯しており、圧迫感のある景観となっています。水面からは印象的なアーチをきれいに見ることができますが、高架やガス専用橋が視界を遮っています。